

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver 5.00R01 → Ver5.10R00)

2001年12月26日
松下システムソリューションズ(株)

- ・UNIXサーバー版 が Ver 5.10R00 にバージョンアップしました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善/変更

GlobalFlow 機能改善

ファイル分割保存対応

保存インスタンスで書類をファイルに保存する時、本文、添付文書、履歴を個々の保存する機能を実現しました。

GlobalDoc 機能改善

廃棄期限文書の自動削除

サーバーの設定に、廃棄期限を過ぎた文書でも自動的に削除しないモードを追加しました。

フォルダー削除の制限

サーバーの設定に、フォルダー削除の際に配下に文書またはサブフォルダーが存在する場合は 削除不可とするモードを追加しました。

フォルダーキーワードに対応

フォルダーへのキーワード登録機能に対応しました。

文書の更新削除の制限

文書のキーワードのみ更新可能とするセキュリティに対応しました。

階層のみ複写機能に対応

階層複写で階層のみ複写(文書は複写しない)モードに対応しました。

Lite版の機能制限を変更

- ・フォルダーは3階層まで作成可能となりました。
- ・個人フォルダーは1階層まで作成可能となりました。
- ・文書に添付可能なファイル数は99個までとなりました。
- ・文書のセキュリティは個別に設定可能になりました。

Mail 機能改善

本文のみの場合のメールヘッダー情報変更

Windowsクライアントからのメール送信で、本文のみの場合はメールヘッダーのContent-TypeをText/Plainとするように変更しました。

不具合修正

データベースコンバータ

conv	Ver4.72 から Ver5.00 へのデータベースコンバート処理で、グループの階層情報がコンバートされないことがある不具合を修正しました。
------	---

ツール

tk_ucug	グループ、ユーザーの階層情報が正常に登録されない不具合修正
tk_ruser	グループ指定の出力が正しくされない不具合修正

ユーティリティ

up_save	LB02, LB04 のバックアップが取得できない不具合修正
chg_code	ワークフローが使用する個人フォルダーのコード変換に失敗する不具合修正
up_delw	OracleのユーザーID/パスワードがデフォルト以外の場合に正常に動作しなかった不具合修正

GlobalFlow

nwf_send_instance	強制遂行,強制否認メールの内容の処理者が、処理実行者と違う人が設定される不具合を修正
nwf_proc	帳票のテキストボックスの値を入力し遂行すると、VALUE値が複数回代入されることがある不具合修正
up_fc70 up_fc72 up_fc74 up_fc75 up_fc76	マスターテンプレートを削除した場合、コピーテンプレート名称の先頭に日付が表示される不具合修正
up_f840	インスタンス情報の登録時、他の人が処理していた場合のチェックが正常に動作していない不具合修正
nwf_viewer	ファイル保存、メールインスタンスが存在するプロセスで、書類を起案者に呼び戻しファイル保存すると、インスタンス表示で、ファイル保存、メールインスタンスが処理済と表示される不具合修正
up_f741	複数の人が書類を開き、ブラウザのxボタンでブラウザを閉じた時、書類の処理ができなくなる不具合修正
up_f873	サーバーのログインしたユーザ情報が失われることがある不具合修正
nwf_proc	メモリ保護違反が発生することがある不具合修正

Mail

5162	Windowsクライアントでのメール参照で、本文、添付ファイル名に半角カナが含まれる場合に正常に表示できないことがある不具合修正。 半角カナは全て全角カナに変換されます。
------	--

SMTP ゲートウェイ

piostounix unixtopios unixtospool	ログファイルが出力されない問題を修正
---	--------------------